広報 かじき

No.299 昭和54年 12月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／吉屋印刷

海上自衛隊輸送艦「おじか」加治木港から初航海

この輸送艦「おじか」による錦江湾体験一般航海が十一月十日加治木港を出港して初航海されました。

◆人口22,339(＋20) 男10,681＋16) 女11,658(＋4) 世帯7,239(＋4) 54.1 1.1現在 (　) 前月比

昭和五十四年度 上半期町の財政

30億の大台に

町では、年二回、町の財政状況について公表することにしています。

これは、みなさんの納めた税金や、国、県からの収入がどのようになっているか、またどのように使われているか、このためどのぐらいの町債（借金）があるかなどについて、四月から九月までの中間報告をするものです。

一般会計財政事情

昭和五十四年度当初予算額は、歳入歳出それぞれ二十九億八千六百万円に上半期六回の補正（六千七百七十七万四千円）を行い、予算総額は三十億五千三百七十七万四千円となっています。

上半期における歳入歳出の状況は、収入済額十四億三千三百一万七千円で収入率四六・九パーセント、支出済額十億三千二百九十七万一千円で執行率三三・八パーセントとなっています。

工事が始まった統合中校舎

町独自の自主財源は三七・二パーセント

歳入予算のうち町独自の自主財源は十一億三千六百八十六万四千円、国や県などからもらう依存財源十九億一千六百九十一万円で、本町の財源は自主財源三七・二パーセント依存財源六二・八パーセントで運用されていることになります。

自主財源の主なものは、町税七億三千六百二万六千円（二四・一パーセント）で残りの四億八十三万八千円が諸収入や手数料などであります。

町民一人当りの税負担は三万三千五百二十一円

住民の税負担の状況は、町予算のうちおおむね四分の一が町税によってまかなわれていることになりますが、これは住民一世帯平均で十万三千五百二十円、一人当り三万三千五百二十一円の負担となります。

また、上半期における町税の収入済額は四億三千七百六十三万九千円で、これを住民一世帯当り、一人当りに計算しますと次のとおりになります。一世帯六万一千五百五十二円、一人当り一万九千九百三十二円。

依存財源の主なものは、地方交付税二五・八パーセント、国庫支出金一七・七パーセント、地方債一一・六パーセント、県支出金五・四パーセント等であります。

一方、歳出については、性質別に大別すると普通建設事業費九億二千九百七十九万八千円、三十・五パーセント、人件費二五・五パーセント、物件費一三パーセント、補助費等一一・一パーセント、扶助費八・七パーセントが主なものとなっています

普通建設費のうち主な事業

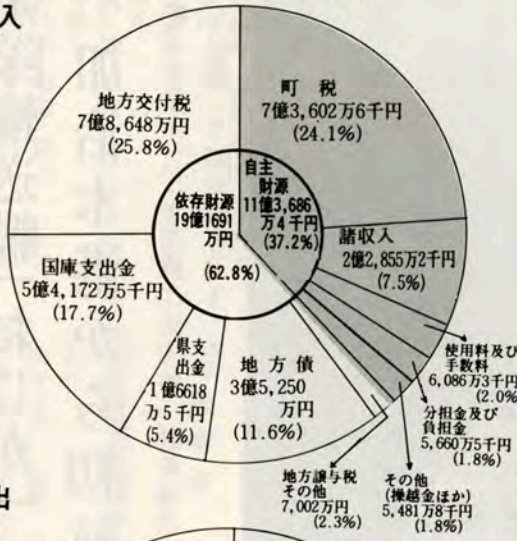
統合中学校建設一億六千四十一万二千円、公営住宅建設（十六戸中耐東黒川団地）一億六千一百六十一万二千円、都市計画事業（街路）一億五百万円、柁城小、永原小施設整備事業費五千五百四十万二千円、高岡公園整備事業四千万円、臨時地方道整備事業六千七百八十万円、臨時河川等整備事業二千八百十万円、橋梁整備事業（鈴玉橋外一）三千九百六十万円、道路整備四千四百万円等であり、九月末契約率五七・六パーセントとなっています。

町の借入金、十四億四千二百十三万四千円

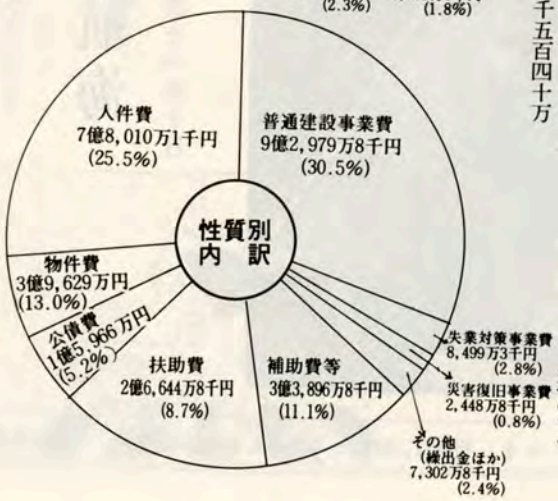
町債（町の借入金）については、昭和五十三年度末現在十一億六千九百九十四万一千円であり、これに今年度借入予定額三億五千二百五十万円、これから今年度償還額八千三十万七千円を差引きますと今年度末残高は、十四億四千二百十三万四千円となる見込みです。

昭和54年度歳入歳出予算内訳（上半期）

歳入



歳出



わが町53年度決算

一般会計　決算額26億1,548万9千円

昭和五十三年度の一般会計、国民健康保険、水道事業の各決算は九月二十九日開会の定例第三回町議会で十月二十四日認定されましたので、その概要をお知らせします。

一般会計の決算額は、歳入二十七億四百六十二万六千円、歳出二十六億一千五百四十八万九千円となり、歳入歳出差引額八千九百十三万七千円でありますが、そのうち四千五百万円を決算積立金として財政調整基金に繰入れたためその残額四千四百十三万七千円が五十四年度へ繰り越しされます。

歳入

収入額の内訳は自主財源（独自の財源）十億九百八十万八千円（三七・三パーセント）残りの十六億九千四百八十一万八千円（六二・七パーセント）が依存財源（国や県から入る財源）で自主財源を大きく上回っています。

自主財源のうち主なものは、町税六億六千四百三十八万二千円、諸収入一億九千三百四十六万四千円、使用料及び手数料六千三十万四千円、分担金及び負担金四千一百三十八万三千円等であります。

依存財源の内訳は、地方交付税八億一千二百六万七千円、国庫支出金四億二千五百九十三万四千円、町債二億五千三百五十万円、県支出金一億二千七百八十三万六千円等であり、地方交付税（三〇パーセント）町税（二四・六パーセント）国庫支出金（一五・八パーセント）町債（九・四パーセント）が歳入の大きな割合を占めています。

町税の負担額は一世帯当り、一人当りに計算しますと次のとおりになります。

▽一世帯当り
九万六千三百九十七円

▽一人当り
三万一千一百八十八円

歳出

歳出の性質別にみますと、人件費七億四千六十七万三千円（二八・二パーセント）物件費三億八千二百四十九万円（一四・六パーセント）補助費等二億四千六百六十六万二千円（九・四パーセント）扶助費二億二千四百三十六万六千円（八・六パーセント）公債費二億二百八十七万六千円（七・八パーセント）普通建設事業費六億九百四十万五千円（二三・三パーセント）失業対策事業費八千一万七千円（三・一パーセント）等であります。

昭和五十二年度決算に比較して義務的経費のうち人件費は伸び率構成比ともに低下の傾向にあるが扶助費、公債費等については増加しており引き続き健全財政確立に向けて一層の努力が必要と思われます。

今後の行政需要に対処出来るよう、この数年間財政調整基金を積立ててきていますが、決算積立金まで含めての現在高は二億六千四百六十七万一千円となっています。

53年度に実施した主な建設事業

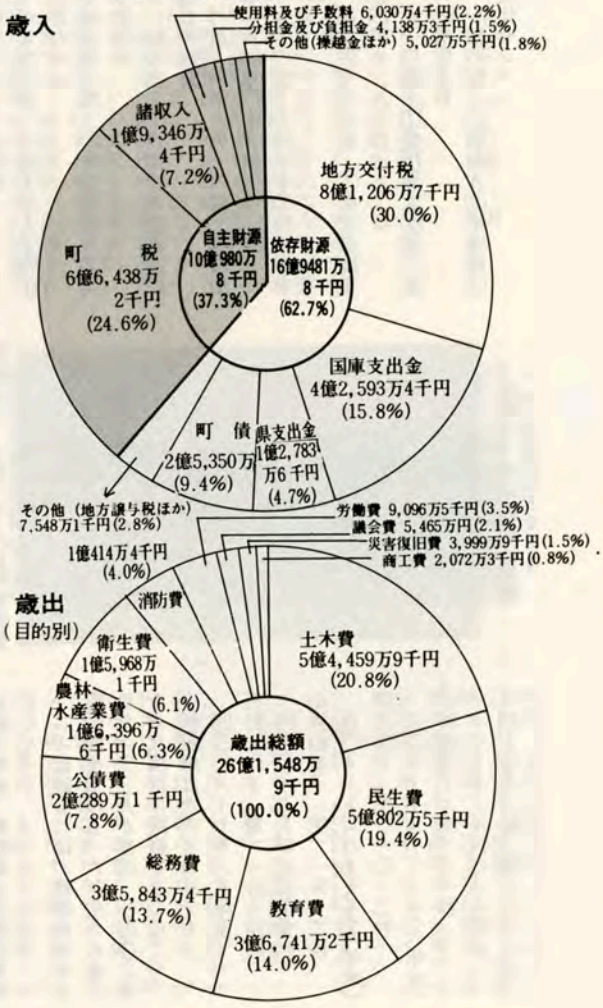
公営住宅（十六戸）木田本通線
隈原線整備、町道改良（小脇線外）
鈴玉橋、町道舗装、錦江排水等整備、川床地区農道整備、高岡公園、永原小屋体、柁城小校舎、福祉センター冷房等

工業が進む木田本通り線

53年度町税の実績

町民税	3億4,268万7千円
固定資産税	2億0,777万9千円
町たばこ消費税	5,920万8千円
電気税	2,909万4千円
都市計画税	1,294万5千円
軽自動車税	752万2千円
特別土地保有税	440万7千円
ガス税	73万2千円
木材取引税	7千円

昭和53年度歳入歳出構成図



加治木団地造成はじまる

本町木田の加治木第二団地（仮称）が「加治木団地」として名称が正式に決定され、今月からいよいよ造成工事がはじまりました。

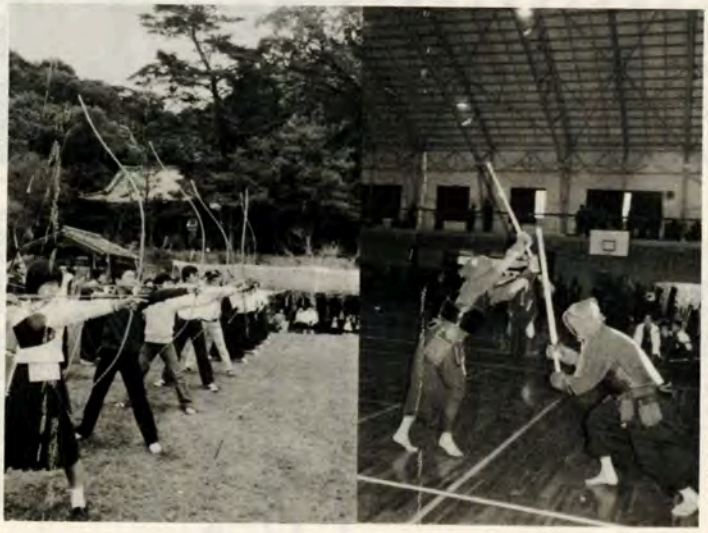
この加治木団地は、約二三ヘクタールの中に七二六戸の一戸建、共同住宅が建設され、新市街地として形成されることになりますが、この建設にあたっては、三五〇余名の地権者の方々のご理解と、地権者代表者会、代替買収委員、議会をはじめ、町内有志の方々や事業主体である県住宅供給公社などの協力で建設されることになったものです。

団地内には、巾十二メートルの道路や公園、緑地等を設け、利便施設、地域下水道をそなえた〝市民生活が躍動する文化的な居住都市〟にふさわしい住宅団地が開発されます。

造成工事は今年十二月から約一年、五十五年末には終る予定ですが、この間土砂運搬の車が通勤通学等ご迷惑をかけることになりますが、ご理解いただきご協力くださるようお願い申しあげます。

義弘公奉賛武道大会

剣弓道に151チーム参加！



第十二回義弘公奉賛武道大会は十一月二十三日の勤労感謝の日に弓道大会は精矛神社境内で、剣道大会は加治木高校体育館で行われました。

この日は朝から寒風の小雨日和りの中、小・中学校生から一般まで、弓道・剣道に一五一チーム、約一、一〇〇人が出場、日ごろの技をきそい合いました。

成績は次のとおりです。

剣道＝小学生の部…①加治木剣道スポーツ少年団②菱刈小A③本城剣道スポーツ少年団

▽中学生の部…①隼人中A②同B③菱刈中A

▽高校生の部…①鹿児島実A②同C③同B

▽一般の部…①自衛隊A②真道館③自衛隊B

弓道＝中学生男子の部…①加治木中A②竜門中③蒲生中

女子の部…①蒲生中②加治木中A

高校生男子の部…①鹿児島商工②加治木工A③加治木工C

女子の部…①蒲生高A②大口高A③蒲生高B

一般の部…①姶良A②求道館③文化センター

全国書道検定に合格

町高齢者学級生

第一〇六回全国書道検定試験が東京都の日本教育書道連盟主催のもとで九月二十日に行われ、これに本町高齢者学級の方が受検され次の方々が見事合格されました。おめでとうございます。

漢字科

五段　新原文男、西田吉二、肥田栄

準二段　湯川武雄

準初段　玉井国吉

仮名科

三段　汰木綾子、肥田栄

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中町福祉センターで相談をうけています。

〝お気軽に〟

町内小学校陸上記録会

新記録が五個

元気いっぱい記録に挑戦

昭和五十四年度町内小学校陸上記録会は、十月二十六日町営運動場で開かれ、子ども達は元気よく記録に挑戦。新記録が五個生まれました。

この記録会には、秋晴れのもと町内四小学校五、六年生から選ばれた六二三人が参加。一〇〇メートル走など八種目に挑戦しました。

新記録は次のとおりです。

四〇〇メートル（五年女）石野加代子（竜）一分十四秒

四〇〇メートル（六年女）山神由美子（柁）一分十二秒

六〇メートルハードル（六年男）岡元雅司（柁）一〇・二秒

六〇メートルハードル（六年女）山神由美子（柁）十一秒

ソフトボール投げ（六年女）川畑まゆみ（錦）四三・六七メートル

話題

勲五等双光旭日章
裁判所一筋55年
西反土の有村　操さん

十一月三日の「文化の日」に、今年も秋の叙勲が発表されました。

受彰者は、鹿児島県関係者七十四人。当町からは裁判所勤め、この道一筋に五十五年間、黙々と公平無私な執行に努められた西反土の有村操さん(七二)が「勲五等双光旭日章」の晴れの受彰となりました。

有村さんは大正十三年に加治木裁判所に入り、以来書記官、鹿家裁初代事務局長や鹿地裁加治木支部執行官など、今年四月退職まで多大な功績をあげられた。

叙勲の喜びを有村さんは「私にとって最高の喜びです。事務局長時代は仮宿舎で過ごした時期もありまた戦後は仕事の量も多く事務処理に追われ悪戦苦闘しましたが今では良き思い出となっています。

東京での授彰式には妻と一緒に行きました。本当に喜びにたえません」と話しておられました。

叙勲に喜びの有村さん

知事表彰の上別府さん

統計功労で知事表彰
内原田の上別府さん

第三十回全国統計大会が十月二十六日、鹿児島市で開催されましたが、この席上で本町内原田の上別府豊さん(六九)が統計功労者として県知事表彰を受けられました。

この表彰は、永年国勢調査や農林業センサスなど、各種統計調査員として統計調査事務に従事、功績のあった方々を行うもので、県下十三人のうち郡内ではただ一人授賞されました。

上別府さんは、昭和二十二年から二十八年間の長期にわたり、本町の統計調査員として統計業務に従事、その功績が顕著であると認められ県知事表彰に輝いたものです。

にぎわった第一回
加治木町農業祭

農村に住むすべての人々の自主的意欲の向上と、町民の方々が農業に対する理解を目的とした第一回町農業祭が催されました。

この催しは、町や農協、それに各種団体、グループの協力で十一月二十五日、加治木中学校体育館とグラウンドで式典や各種資料、展示即売等が行われました。

式典では、畜産関係で活躍された楠元正男さんら十六人の表彰や豊かでぬくもりに満ちた農村社会づくりをまい進する宣言文が採択されました。

つづいて各グループの代表者による演芸大会が行われ、終日にぎわいました。

一斉に走者がスタート

地区対抗駅伝大会
永原地区　二連勝

十一月十一日、第八回町内地区対抗駅伝競走大会が、加治木女子高正門前をスタート、須崎海岸堤防折り返し、十区間二〇・五キロコースで行われ、永原地区が昨年に引き続き優勝しました。

出場者は小学生男女、中学生男女、高校生以上男子と一般男女の十人が一チームを編成して各地区から出場。沿道の声援を受け全員が力走しました。

成績は次のとおりです。

優勝　永原（1時間13分48秒）②城北（1時間18分58秒）③竜門（1時間20分12秒）

区間賞　一区＝桑迫千尋（永原）二区＝山口由美子（城西）三区＝岩下恵子（城西）四区＝西森正（永原）五区＝楠元健一（永原）六区＝市原禎雄（城西）七区＝隈原伸一（永原）八区＝原口政則（城西）九区＝小宮路米美（永原）十区＝向江剛（永原）

姶良・伊佐地区老人
スポーツ大会で優勝

さる十月二十四日、横川町の丸岡公園で行われた第八回姶良・伊佐地区老人スポーツ大会で、本町はチームワークの良さを発揮、みごと総合優勝しました。

この日は、一市十二町から約八〇〇人参加、本町からは総勢六十人が参加し、ボーリング等趣向をこらしたプログラム十一種目のすべての競技に四十二人の選手が出場して、日ごろの練習の成果をあげ、立派な成績で優勝しました。

優勝に輝いたみなさん

婦人会だより

師走……。あわただしく今年も暮れようとしています。訪れる八十年代の息吹さえ感じるこの頃です。しかし、あわただしい中にも静かに今年を反省するひとときをぜひ持ちたいものです。

「食生活を考える」

豊かで簡単になった食生活、子どもにまで成人病や体力の低下が伝えられるこの頃です。これらは食生活、特に栄養のアンバランスがその原因の一つではと言われています。

婦人会や生活学校では、今日の加工食品のはんらん、特に清涼飲料水の糖分や即席ラーメンの塩分過剰が栄養のバランスを崩す大きな原因と言う事から、食生活を考えるをテーマに運動をすすめる中で、塩分、糖分の摂取等に関するアンケート調査を行いました。その結果の一部をあげますと、

●塩分、糖分の摂取量について

気にしていない人が40パーセント

●とり過ぎによる体への影響について

気にしない人が約16パーセント

多少気にしている人約60パーセント

●のみ物やラーメンに含まれる塩分、糖分の量について

多いとした人が約40パーセント

少ないとした人が2パーセント

●塩分、糖分の規制について

減量すべきとした人が約50パーセント

●量目表示について

表示が必要とした人が88パーセントと等となっています。

このアンケートをもとにいろいろな角度から検討していくことにしています。特に子どもたちへの影響等を重視して運動を展開していこうと思います。

あなたの家では糖分、塩分の摂取量はいかがですか？

県民バスで研修

今年も婦人会、栄養大学のみなさん五〇名が県民バスを利用して研修しました。

日赤血液センター、消費生活センター、臨海工業地帯、奄美の里婦人会館等へ行きましたが、なかなか個人では訪れる機会のないところで、みんな十分な研修をつみました。特に日赤では献血の大切さ、献血する事で、自分の体の健康点検にもなる事などをきき、その場で献血をした人も出たほどでした。

消費生活センターでも、賢い消費者のあり方や、消費生活センターの働き等学習しました。くらしについての苦情や、相談にご利用ください。

会場いっぱいに集まった町文化祭

第十三回目をむかえた町文化祭は、十一月二、三日の二日間、町福祉センターを主会場に開催され、大にぎわいしました。

会場には、写真、短歌、俳句、洋裁、書芸、盆栽、編物、生花が展示され観覧者の目を楽しませました。

また二月目は、茶会が会場に集まった方々にお茶のサービスをし、大ホールの舞台では、芸能発表会が尺八、吟道、謡曲、合唱、琴、三味線から日本舞踊まで四十三種目が発表され、会場いっぱいに集まった観衆の拍手をあび終日にぎわいました。

郵便局からのおしらせ

郵便局の簡易保険では、十二月を「アフターサービスの月」として簡易保険加入者の皆さんに、お得な保険料の払込方法のお知らせや、保険料の払込みが月遅れとなっているご契約の保険料払込みのお勧めなどを行っています。

〝保険料の払込みは割引の　ある前納払込みで〟

毎月の保険料を、前もってまとめてお払込みいただきますと（財形貯蓄保険を除く）次のような割引を行います（ただし、三か月分以上の場合に限ります）

例：月額保険料１万円の場合

払込月数	割　引　額
3　か　月	千　円（1か月分の$\frac{1}{10}$）
6　か　月	5千円（1か月分の$\frac{1}{2}$）
1　年	1万円（1か月分）

順次、払込み年数に応じて有利な割引となっています。

文化財めぐり 41

木脇刑部左衛門祐秀墓

反土・札立

札立の椿窓寺墓地内にある。祐秀は島津義弘に殉死した十三人の中の一人で、幼少のとき、父、兄ともに戦死したので、義弘の側近に召し出され、朝鮮、関ケ原両役に出陣し、殊勲をたてた人である。

朝鮮役のさなか、敵と交戦中つまづいて川に落ち、手傷を負ったとき、義弘が膝の上にとりあげ手厚く傷の手当をしてやった。それに感激しそのときすでに公と生死を共にし、公の逝去のとき、あとを追って殉死しようと決心したといわれている。

人気を呼んだ町美術展

７０４点を展示

大きく書かれた小学１年生の書

第二十一回町美術展は、十一月九日から十一日までの三日間、町福祉センターで開催されました。

作品は、町内の小・中学生の図画、工作、習字等六三三点をはじめ、一般の絵画や写真等七一点、計七〇四点が会場いっぱいに展示されました。

九日の初日には、入賞者の表彰式が行われ審査員の先生から「図画、デザイン、工作については、洗練された色彩感覚を持った子どもたちが多く、構成的な工夫などよく調和させている作品が多かった。上手、下手でなく子どもの真実の姿を引き出した作品が大切である。書写の部では、高いレベルの作品が多かったが、線質が問題となるので太く豊かな線が欲しい。そのためには筆を十分おろして、根もとまで墨をふくませて書くこと。硬筆は、マスメを八割程度使って、字形を揃えて書いてほしい。総体的に一生けんめいやっている人が多く、感動する作品が多かった」と講評がありました。

特別賞の入賞者は次のとおりです。

▽町長賞
毛筆　原田智子（柁小六）
描画　森下智佳子（柁小二）

▽教育委員会賞
毛筆　渋谷友美（柁小五）
デザイン　篠原いずみ（加中二）

▽議長賞
毛筆　今村優子（加中二）
描画　金山政勝（柁小三）

▽商工会長賞
毛筆　藤崎香（柁小四）
工芸　松岡敬士　鳥飼裕貴　内園玲子（錦小二）

▽農協長賞
毛筆　森実奈子（柁小三）
絵画　内村みどり（竜中三）

▽南日本書道会賞
毛筆　篠原伊津子（加中三）

▽南日本新聞社賞
硬筆　なかしましげと（柁小一）
デザイン　山口かおり（永小四）

▽奨励賞
硬筆　とおやかおり（永小一）田中ともみ（錦小一）東こずえ（同二）さかいしょうこ（柁小一）ふちわきみなこ（同一）しおやはくみ（同二）もりしたちか子（同二）しまもとこうじ（同二）
毛筆　畠中淳一郎（永小五）田中ルミ（錦小四）原田祥子（柁小五）岩川由美（同五）白浜論（同五）塩屋千晶（同五）早崎かおり（同六）丸野由梨子（同六）前田真理子（同六）壱岐洋久（同三）常盤葉子（同三）中村憲哉（同三）常盤孝子（同四）小川正一（同四）東川内智恵（竜小三）鶴留幸雄（永中二）稲元みどり（加中三）有村修（同三）渡辺香代（同三）角恵子（同二）神宮一典（同二）吉田章子（同二）田中美岐子（同二）木原孝文（同一）堂免弓（同一）田中郁代（同一）
絵画　いけのうえとおる（柁小一）浜田衣代子（同四）隈原美幸（同六）みさかすすむ（錦小一）松本佳恵（同三）大串正明（同四）永松智子（同五）赤崎秀成（同六）犬童美幸（竜小二）川原賢（同五）こおり山しょうじ（永小二）内村光志（指養中三）木村賢三（加中一）町田浩一（同一）豊村甲子郎（同二）梅田裕子（同三）
デザイン　鳥丸新一（柁小四）溝口英樹（同五）池田博美（錦小三）西ノ原朋子（同五）山口秀二（竜小三）宇田初音（加中一）白浜佳代子（同二）酒匂葉子（同二）井上輝男（同三）
工作　柳川良勝（柁小三）市来原照美（竜小六）
彫刻　猪目英男（竜中二）
絵画　山下こうじ（柁小三）

異動

十一月一日付けで役場の人事異動が次のとおり発令されました。

（　）内旧課

住民課長補佐（保健衛生課長補佐）入部兼宣▽保健衛生課長補佐（税務課長補佐）犬童博子▽税務課長補佐（税務課第二係長）竪山大支▽税務課庶務係長（税務課第一係）重昭実▽税務課（総務課）香川紀征

退職

十一月一日付

鈩野ミチ（住民課）

竜門の会

白菊の咲きそめ日和定まりぬ　鶴田　耕

点滴に祈る夜空や星飛べり　井之上透山

母の手の葱の匂ひや熱の中　徳留　末雄

夕日差す峡のむこうは蕎麦を刈る　三浦　ゆう

汐の香のとどく家並や柿たわわ　加藤　白柳

みはるかす入江秋日に輝やけり　上野　光

薄紅葉雨雲脱ぎて山迫る　横山　江南

小春日の心もどかし車椅子　田代　俊泉

熱ひきし床に明るき菊の鉢　曽木　柳田

丹精の花それぞれに菊花展　高木　正男

静ごころ吾が残照の水溜り　穂満　テル

秋霜の池に鳴き交ふ鴨の群れ　宮脇　思川

町成人式

一月十五日

本町の成人式は、来年一月十五日、町福祉センターホールで開催します。

成人式の該当者は、昭和三十四年四月二日から昭和三十五年四月一日までの出生者です。

式には、華美にならないよう平服での参加を歓迎します。

町では、新成人者全員の出席をお待ちしています。

うぶ声

十月二十一日から十一月二十日受付分

出生者

渋谷裕一　福元康剛　福村昭宏　山元愛子　中原愛子　原田直子　満尾和美　石塚照己　屋所克也　山口　淳　黒江竜太　畠中　卓　上山真努加　米村由美

保護者

部落

満男　下東木
武美　天神
政幸　西江口団地
洋一　春日団地
真夫　西塩入上
敏治　西反土前
賢一　岩原東
光昭　天神
克郎　下浜
正一　浜村
勇熊　西江口団地
利彦　下新道
和博　於里
英雄　於里
山下修平　冨通
穂森勇樹　力
遠屋朋子　義一
島村健太郎　健二
徳永ゆかり　久美
常盤ゆかり　幸一
有村勝己　正己
村上恵理子　正光
緒方聡子　洋平
桃木野陽一　守
神山　怜　眸
永福　豊　修次
宇都沙織　照志
大山淳二　俊悟

蔵王団地
上木田
御狩山
吉原
西町
岩原西
春日団地
岩原西
高井田
反土黒川
東諏訪
西反土前
天神
南塩入

国保シリーズ

国保税は納めていますか

①〈国保税は国保の大切な財源です〉

国保はみんなが出し合った税金で賄われています。今、加治木町の国保は火の車、みんなが使う医療費は国保税だけでは足りず国の補助を加えてやっと支払われている状態です。あなたの支払う国保税がなければ加治木町の国保は運営していけません。

②〈国保税を早く納めることはあなたの義務です〉

国保税は六、七、九、十一、一、二月が納期です。納付が遅れると延滞金が課されたり、滞納処分を受けることになります。更に、滞納が続けば他の加入者に余分な負担を負わせたり、また納付率が低いと国の補助金が減らされるなど、みんなに迷惑をかけることになります。国保税は必ず納期内に納めてください。国保税を納めることはあなたの最も大切な務めです。

○国保税納めて安心わが家の健康

○納得し笑顔で納める国保税

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　西ノ原　白尾　ヨシ（国男72）
三万円　東諏訪　福永　邦弘（祐春77）
三万円　西諏訪　川上　仁（菊枝50）
二万円　西ノ原　下枝　時代（タマ子68）
三万円　上木田　扇園　敬次（ハツエ73）
二万円　高井田　諏訪　寿夫（アキ子72）

今月は固定資産税四期の納期です。

二万円　隈原下　森木　清志（ナイ79）
一万円　岩原西　鹿屋　せい（軍吉84）
一万円　西反土前小倉トミ子（秀雄61）
二万円　中福良後岩穴口ハルエ（亀吉69）
二万円　新　中　堀之内ケサミツ（政義76）
一万円　里ノ下　地久里フジ子（寅二64）
五万円　辺川中　神園　進（國義70）
一万円　吉　原　児玉シヅエ（盛次80）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　西ノ原　白尾　ヨシ（国男72）
二万円　西諏訪　川上　仁（菊枝50）

一般寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　西反土後　稲留　チエ子

▽…十一月二十日までのご寄付を掲載いたします。

年末年始の交通事故防止運動

12月10日～1月10日

■こどもとおとしよりを交通事故から守ろう
■無謀運転をやめよう
○安全運転，ゆっくり走ろう
○飲酒運転を追放しよう
○シートベルト，ヘルメットを着けよう
○原付の無保険車は，すぐ保険に加入しよう